

## 第198回 番組審議会

1. 日 時 平成23年1月11日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 13名  
出席委員数 10名 (欠席委員数 3名)

### ○ 出席委員 (敬称略)

中村 慶久 (委員長)

三浦 宏 (副委員長)

—以下50音順—

斎藤 純

斎藤 雅博

東海林 千秋

菅原 正二

中原 祥皓

藤原 保雄

八木橋 伸之

吉田 浩次

### ○ 会社側出席者 (6名)

佐藤 滋樹 (代表取締役社長)

小原 忍 (専務取締役)

藤澤 利憲 (常務取締役)

前田 秀男 (取締役編成技術局長)

藤原 銀司 (取締役営業局長)

和田 圭 (フジテレビジョン 報道局 解説委員)

### ○ 事務局 村田 重昭

#### 4. 議 題

今回はフジテレビジョン報道局から解説委員の和田圭氏をゲストに招き、「テレビ政治報道の変遷とその功罪、そして今後の課題」をテーマとして講演を頂いた。

#### 5. 議 事 概 要

長くフジテレビで政治報道に携わってきた和田氏は講演のなかで「テレビニュースは、事実を淡々と伝えるストレートニュースからスタートしたが、次第にワイド化してニュース番組と呼ばれるようになった。ワイド化によってニュースが映像や効果音・音楽を多用し加工されたスタイルに変化してきた。また、ワイドショーなどの情報番組もニュースを扱うようになり、結果としてニュースを扱う番組が非常に増えた。」と説明。その功罪については「ニュースを早く分かりやすく伝えたという良い点がある一方で、視聴率を意識した結果、大衆迎合・ポピュリズムなどのデメリットが出てきた。」と指摘した。今後については「速報性を意識し、生の情報を扱う報道が増えると考えますが、早く正確に放送するという報道の大原則が崩れないように一層気をつけなければならない。また解説と論説の違いを明確にし、解説機能を充実させること。さらに放送法の問題はあるが、新聞に負けないような論説の分野に踏み込んでいくことも必要なのではないか。」などと話した。

講演後の委員との意見交換において、委員から「解説や論説の充実の話があったが期待したい。」「軽く話してしまったようなアナウンサーのコメントが、世論調査などに大きな影響を与えているように思えるので、慎重になって欲しい。」などの話があった。

#### 6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

#### 7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

\* 平成23年1月12日（水） 産経新聞 東北版

## 番組審議会

岩手めんこいテレビ

岩手めんこいテレビの第198回番組審議会（中村慶久委員長）が11日開かれ、フジテレビ報道局の和田圭解説委員の講演を聞いた。

和田氏は長く政治報道に携わり、この日のテーマは「テレビ政治報道の変遷とその功罪、そして今後の課題」。事実関係を淡々と伝えていた政治関連のニュースは報道番組、ワイドショーの広がりとともに、脚色されたスタイルに変化してきたことなどを説明。今後については「テレビでも解説重視の傾向が強まるのではないか」などと話した。

講演後、委員からは「放送法との兼ね合いもあるだろうが、もっと主張してもいいのではないか」などの声が寄せられた。

- \* 平成23年1月22日（土）午前4時42分から4時45分まで「めんこいテレビ番組審りポート」内で放送
- \* 据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

### 8. その他の参考事項

特になし